

1. 科目名 (単位数)	社会福祉原理特殊講義 (4 単位)	3. 科目番号	SSMP7201
2. 授業担当教員	尹 文九		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	通年
6. 履修条件・他科目との関係	修士課程の社会福祉法特論を履修しているか、またはそれと同等レベルの学識を有していること。		
7. 講義概要	社会福祉・社会保障の原理、目的、実施状況を現状追認ではなく、根本から批判的に検討する。また、社会福祉と関連した主な制度について制度的なアプローチと機能的なアプローチという複眼的な観点から考察する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉学と関連した様々な理論について事例を通して理解を深める。</li> <li>2. 社会保障の目的や全体の仕組み、機能 理念などについて理解を深める。</li> <li>3. 福祉レジーム論と東アジア福祉モデルについて理解を深める</li> <li>4. 2と関連し社会福祉に絞って分野別の内容の特徴や歴史、いくつかの制度について検討する。</li> <li>5. 3と関連して高齢者分野に絞っていくつかの制度を選び、その制度ができた背景から政策決定過程や内容について深く理解する。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	各回の授業でのディスカッションを踏まえ、気づきや発見について簡単なレポート (A4 1 枚 ワープロ打ち) を作成し、提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 児島亜紀子、伊藤文人、坂本毅啓編『現代社会と福祉』東山書房 2015 年 <b>【参考書】</b> ①星野貞一郎『社会福祉原論』有斐閣、2002 年 ②松本英高、永岡正己、奈倉道隆編著『社会福祉原理論』ミネルヴァ書房、2012 年 ③喜多村悦史『社会保障改革の処方箋』医業経済社、2013 年 ④ハイエク『隷従への道』(村井章子訳) 日経 BP 社 2016 年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 授業中のディスカッションへの参加度、およびその前提としての予習の度合いを重視する。 ○評定の方法 レポート 50% 講義中の質疑 50%		
12. 受講生へのメッセージ	双方向・対話型で行うので、授業時に主張したいこと、伝授したいこと、質問すべきことなどをしっかり事前準備しておくこと。教科書への批判的考察も歓迎する。教員も院生とともに学びたいと考えている。		
13. オフィスアワー	火曜 (池袋。授業終了後の教室において) 木曜 (伊勢崎の研究室)。メールによる相談も受け付ける。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1～3. テーマ	社会保障と社会福祉について基本的な理解		
<b>【学習の目標】</b>	社会科学という学問の中で社会福祉学の特徴を理解したあと、日本の法律関係上、社会保障と社会福祉の位置付けその特徴、目的、仕組み、原理と機能などについて学習する		
<b>【キーワード】</b>	社会福祉、社会保障、地域福祉など		
<b>【参考文献】</b>	教科書のほかに参考書参照		
4～6 テーマ	現代社会の諸問題と社会福祉		
<b>【学習目標】</b>	現代社会の特徴と社会福祉と関連した様々の問題についてまた、それを解決するために何が必要であるのかについて学習する。		
<b>【キーワード】</b>	グローバリゼーション、社会問題、ニーズ、ミクスト福祉、政策アジェンダなど		
<b>【参考文献】</b>	教科書のほかに参考書参照		
7～9. テーマ	社会保障の歴史的展開		
<b>【学習の目標】</b>	社会保障制度はいつから始まり、どのように発展または歴史的に展開されてきたのかについて政策と関連させながら歴史から今後課題などを考える。その際、外国の歴史と日本の歴史、まだ時期区分として日本の場合は戦前と戦後に分けて検討する。		
<b>【キーワード】</b>	、政策転換、政策環境、政策と制度など		
<b>【参考文献】</b>	教科書のほかに参考書参照		
10～12. テーマ	少子高齢社会における政府と社会保障の在り方		
<b>【学習の目標】</b>	少子高齢化等の社会変化をどう受け止めるべきか。それによって生じる様々な問題に対して政府はどのように対応してきたのかを社会保障の在り方と関連させて理解する。		
<b>【キーワード】</b>	政府、人口変化、圧縮・少子高齢社会、		
<b>【参考文献】</b>	教科書のほかに参考書参照		
13～16. テーマ	財政と財源		
<b>【学習の目標】</b>	日本の予算制度から始まり、社会保障給付費の推移や国民経済と社会保障費用負担の関係を正しく理解する。また、財源をめぐってどのような問題や課題があるのかについて考える。		
<b>【キーワード】</b>	財政、一般会計予算 社会保障給付費 国民負担率など		
<b>【参考文献】</b>	教科書のほかに参考書参照		
17～20. テーマ	社会福祉の運営主体		
<b>【学習の目標】</b>	社会福祉・社会保障制度の運営システムを正確に把握し、体系の整合性について分析する。		
<b>【キーワード】</b>	国・都道府県・市町村 措置委託 公設民営 非営利の概念 医療法人・社会福祉法人		
<b>【参考文献】</b>	教科書のほかに参考書参照		

21～26.テーマ	実施上の論点（社会福祉制度に事例研究）
【学習の目標】	社会福祉分野の事例を通して現実が生じている矛盾の原因を分析する。そしてこうしたことを防ぐまたは軽減させるために必要なものは何があるかについて考える。
【キーワード】	生活保護不正受給 高齢者虐待、孤独死 介護保険制度、成年後見制度など
【参考文献】	教科書のほかに参考書参照
27～30.テーマ	社会福祉構造改革とサービス利用方式、総括
【学習の目標】	なぜ、社会福祉改革が行われたのか、それによって制度はどのように変化し、国民のサービス利用方式にはどのような変化があったのかについて理解する。
【キーワード】	構造改革、措置制度、法定受託事務、応能負担
【参考文献】	教科書のほかに参考書参照